

【畑地帯総合整備事業 武井地区】

基盤整備による高収益作物の生産拡大（茨城県結城市）

体制・人材づくり 栽培作物・方法 加工・出荷 販売

【工夫のポイント】

水田

- 排水改良により水田を汎用化し、高収益作物の新規導入が可能に
- 基盤整備を契機に、担い手へ農地を集積・集約化

畑

- 畑地かんがい施設の整備により霞ヶ浦用水を活用し、高収益作物の生産を拡大

【取組地域の概要】

位置 茨城県 結城市

武井地区



茨城県

地区面積 77ha（畑48ha 田29ha）

主要作物

はくさい、レタス、キャベツ
だいこん、米

主な支援施策

- ・ 国営霞ヶ浦用水農業水利事業 霞ヶ浦用水（S55～H20）
- ・ 県営かんがい排水事業 霞ヶ浦用水Ⅲ期地区（H5～）

区画整理や畑地かんがい施設の導入により生産性が向上

【整備前】

- 区画は不整形かつ狭小で、道路も狭く、大型機械導入の支障となっていた
- 排水路が未整備だったため、大雨時には排水不良により作付に支障をきたしていた
- 畑作は天水頼みのため、干ばつ時には生育不良を起こしていた



不整形で狭小なほ場



干ばつによる育成不良

【整備後】

水田

- 区画整理や農道整備により、**大型機械の導入**が可能となり営農が効率化
- 排水路の整備により、**大雨後でもすぐ作付け**可能になるとともに、**畑利用も可能**に

畑

- 畑地かんがい施設の整備により、霞ヶ浦用水を活用し安定的な作付けが可能に



整備後のほ場



霞ヶ浦用水を活用した消毒

基盤整備
(H30年～)

高収益作物の作付拡大および担い手への農地集積の加速化

高収益作物の作付面積

整備前（H30）
キャベツ等 4品目
61.0ha



水田におけるはくさい

整備後（計画）（R12）
キャベツ、ねぎ、はくさい等 9品目
74.7ha



畑におけるねぎ

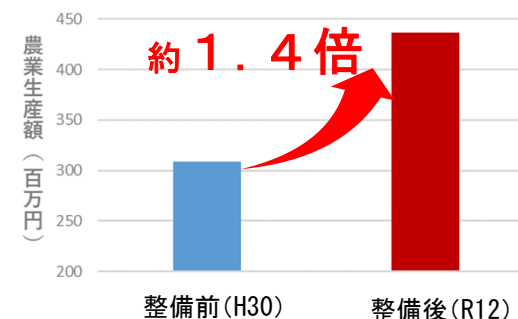
農地集積率

整備前（H30）
63.8%

整備後（R7末）
78.4%

地区内における農業生産額の向上

地区農業生産額の変化



作付け品目の拡大により、**1年通した作付体系を確立**し、担い手の安定した収入を確保

【出典：事業計画書 経済効果算定資料】

生産現場